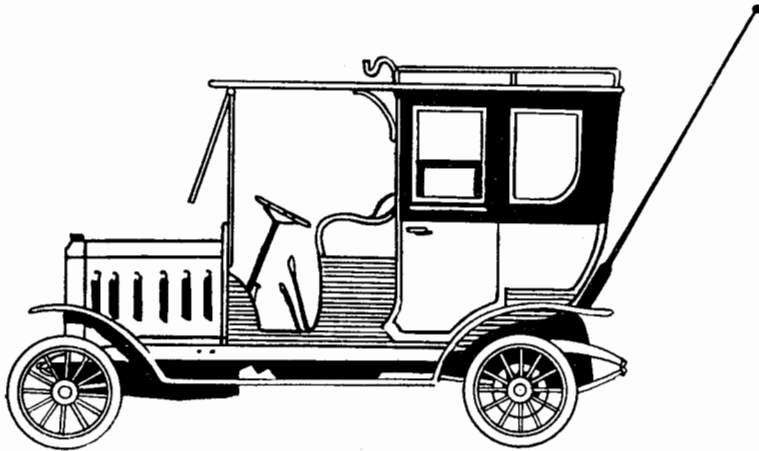


(c)QTC-Japan.com & Tokyo OLD

JMHC

会
報

N
O
·
3



JAPAN MOBILE HAM CLUB

目	次
---	---

巻頭言	J A 1 D W I	山田豊雄	1
J M H C NEWS		2
• 総会			
• 事業報告			
• 会計報告			
• 地区別組織			
• 役員会			
• 昭和37年度役員			
• 第3回モバイルハムコンテスト結果			
アンテナ2題		9
• A Homemade Bumper Mount			
• 最も簡単なグラントプレーンアンテナの建て方			
雲助行状記(上)	J A 3 R F	桑垣敬介	12
J M H C 交換欄		20
会員名簿		22



巻 頭 言

JALDWI 山 田 豊 雄

去る4月15日都会の雑踏を離れて初夏を思わせる陽光の下氷川丸船上で和かなうちに総会を終了し開放感を味う暇もなく再び会長をお引受する羽目になってしまい、今後益々発展を予想されるJ,M,H,C,の運営に重荷を背負った様な感じで私自身適任であるかと疑問に思っています。しかしお引受した以上微力ながら、誰もが楽しみ、語り合い、喜び合える・J,M,H,C,とする様努力致す所存であります。

月日の経つのは早くJ,M,H,C,も誕生以来一年になりますが、祿々皆様のお相手もせず昼間は会社、夜はネオン瞬く巷が恋しくあまりオンザエアもできませんでした。もともとアマチュア無線よりもアルコールと潤滑油と自動車に深いつながりのある私ですが技術的な面は何一つ分らずハンダ付をすれば洋服の上からおへそを火傷する仕末で未だもって自作のセット皆無という状態です。

さてこの一年を顧みて感じた事はすべての局がセットを完全に整備されQ,R,Oされた事で交信距離の限界が分ってしまった現在ではDXよりもむしろ走る事に興味をうばわれた感があります。そこで走る方に熱を入れる局とセット自体に興味を持つ局とに二分されている様でこのバランスを保つてあらゆる成敗利鈍を乗り越えて行くことの中にお互の親しみなり友情が芽生えてくるものと思われます。

今後共御意見御批判を頂き、明日のJ,M,H,C,発展の礎にしたいと存じます。この誌面をかりてこの一年御協力を頂いた皆様に厚く御礼申し上げます。

J M H C N E W S

総 会

J M H C の第 1 回総会は 4 月 1 5 日 (日) 午後 2 時より 4 時まで横浜港の水川丸 1 等読書室で行われた。当日は横浜地区の会員の無線誘導で山下公園の駐車場までは全員無事に到着したものの、車を降りてツンホになるや迷子が続出して主催者達を慌てさせた。しかし開会までには当クラブはじまつて以来の 3 2 人もの会員が集まり盛況を極めた。

総会は午後 2 時きつかりに会場の交渉その他総会の開催に尽力された J A 1 B L N 早川氏の開会の辞で幕を開け、会長 J A 1 D W I 山田氏の挨拶の後、議長に J A 1 E Q I 藤田氏を、議事進行係に J A 1 B L N 早川氏を選出した。事業報告、会計報告の後、会則の変更について討議が行われたが、役員会提出の変更案を一部修正の上可決した。

この後 J A 1 G N Q 市島氏より遠乗会成立に要する最低参加局数を決定してはどうかとの動議が出され長時間討議されたが、地区別組織を通じて遠乗会前日までに参加局数を事務局が把握する事を決定して G N Q 氏の動議を却下した。なおこの方法として各会員が自分の地区の責任者に遠乗会の前夜 9 時までに出席を連絡し、各地区の責任者が事務局に 1 0 時までに参加局数を連絡する事を決定した。

次に役員の新選を行い、会長に J A 1 D W I 山田氏を再選し、地区責任者を役員に加える事を条件に役員の人選を一切会長に委任した。

これで総会の議題を一応終了し自己紹介に入ったが、その間に 2 - 3 の会員から周波数偏移を決めてほしいとの要望があつた。しかし現在は米軍放出品全盛時代から X⁷tal コントロール化されたセットへの過渡期にある為に色々なトラブルがあるが、これは次第に整理されていくであろうし、現在周波数偏移を

(c)QTC-Japan.com & Tokyo OLD

決定する事は意味がないとの意見が多く、決定を見るに至らなかった。またJ
A 1 B R M山下氏からは会員の冠婚葬祭に会から慶弔金を出してはとの提案が
あつたが、実行が困難であるとの理由で見送る事となつた。

総会は予定通り4時に閉会となり解散した。会員は氷川丸の無線室を見学の
後、楽しかつた総会の思い出を胸に秘めて南京町へ、あるいは一路家路へと別
れて行つた。

総会に提出された事業報告、会計報告、地区別組織は別項の通りである。

事業報告

- 36・4・22 月例ミーティング (於山田油機馬込ビル)
- 5・6 遠乗会 (銚子方面)
- 5・27 月例ミーティング (於山田油機馬込ビル)
- 6・ 遠乗会 (軽井沢)
- 6・24 月例ミーティング (於山田油機馬込ビル)
- 7・29 ' (')
- 8・26 ' (')
- 9・10 遠乗会 (箱根方面)
- 9・16 会報第1号発行
- 9・30 月例ミーティング (於山田油機馬込ビル)
- 10・14-15 遠乗会 (吾妻スカイライン)
- 10・28 月例ミーティング (於山田油機馬込ビル)
- 11・5 第3回モバイルHAMコンテスト
- 12・3 会報第2号発行
- 12・3 忘年会 (於六本木ロザン)
- 37・1・14 初乗会 (鎌倉・江ノ島方面)
- 1・27 月例ミーティング (於山田油機馬込ビル)
- 2・25 月例ミーティング兼遠乗会 (於城ヶ島)
- 3・18 遠乗会 (水戸方面)
- 3・26 役員会 (於山田油機馬込ビル)

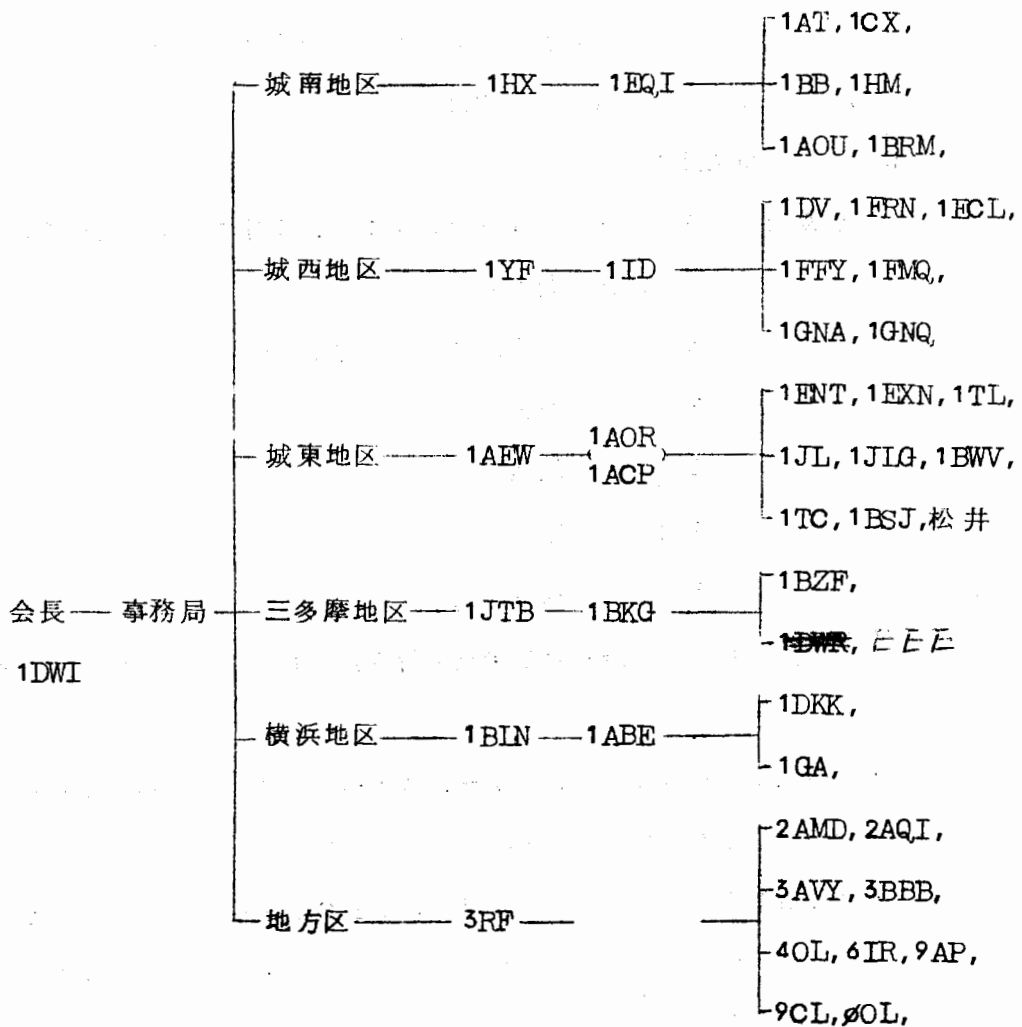
会 計 報 告

収 入	3 8, 8 0 0
支 出	
連絡・通信費	5, 7 1 0
ゴム印製作費	2, 4 1 0
会報第1号	7, 8 0 0
会報第2号	1 0, 0 0 0
スコッチライト・ラベル	6, 7 0 0
諸雑費	5, 0 5 0
<hr/>	
小 計	3 7, 6 7 0
差引残高	1, 1 3 0

地区別組織

会則の一部変更に伴い、J M H Cは次の様な地区別組織を持つ事になりました。各メンバーから事務局への連絡及び事務局から各メンバーへの連絡はこの組織を通じて行われ、また遠乗会やミーティングの開催は各地区持ち廻りで行われる事になりました。

責任者 副責任者



役 員 会

4月15日の総会に続いて4月19日(木)午後8時より、山田油機馬込ビルで昭和37年度第1回役員会が行われた。当日は神戸より上京してきたJA3RFを迎え、次の14名の出席者があつた。

JA1HX, 1YF, 1ABE, 1ACP, 1AEW, 1BLN,
1BRM, 1DWI, 1EQI, 1FFY, 1FMQ, 1GNA,
1GNQ, 3RF,

JA1EQI藤田氏の司会で始められた役員会は先ず今年度の役員及び役職を別項の如く決定し、議事に入った。

1.

1. 今年度事業計画

- ・遠乗会 6月、9月、10月、11月、3月に行う。この企画、運営は次の地区が行う。

6月 城東地区 行先：真鶴

9月 城南地区

10月 城西地区

11月 三多摩地区

3月 横浜地区

- ・1月には新年会を兼ねた初乗会を行う。これの企画、運営には事務局が当る。
- ・工場見学、ジムカーナ、ラリー、スカベンジャレース等は事務局が企画し会員の相互の親睦をはかる。
- ・会員増加の為にPRを行う。但しJMHCが主催する以外のデモンストラーションへの参加は原則として行わない。出来るだけマスコミを利用してPRをする。

(c)QTC-Japan.com & Tokyo OLD

2. 技術的問題

- 1 H X局より 1 A C局の意見として次の様なQ, S Pがあつた。

「送受信機の安定度を考慮した場合、バンド幅が狭いと意志の疎通がはかれなくなりやすい。またバンド幅を狭くおさえる事は技術的にも難しい。それにアマチュアには40 KCのバンド幅が許されているのだからその範囲内で出来るだけ広く使うのがアマチュア的であろう」

- これに対し色々討議した結果、J M H C規格としては2 M C台のX^{tal}を2.4 通倍して ± 1.5 KCの周波数偏移を得る事とした。

3. 予算案作成

- 新役員会が発足したばかりでまだ具体案が作成されておらず、また討議時間も残り少なくなつた為に次回役員会に繰り延べる事にした。

閉会 午後10時

役 員

前記役員会で決定された37年度役員は次の方々です。

名誉会長		J A 1 Y F
会長		J A 1 D W I
副会長		J A 1 H X
幹事		J A 1 E Q I
理事		J A 1 I D , 1 A B E , 1 A C P , 1 A E W , 1 B K G , 1 B L N , 1 B R M , 1 F F Y , 1 G N A , 1 G N Q , 1 J T B , 3 R F ,
事務局	企画	J A 1 B L N
	編集	J A 1 B R M
	技術	J A 1 F F Y , 1 G N Q ,
	会計	J A 1 G N Q
	監査	J A 1 E Q I

第 3 回 モバイルハムコンテスト 結果

昨年11月5日に行われた第3回モバイルハムコンテストの入賞者は次の方々です。

移動部門

第1位	J A 1 A E W
第2位	J A 1 F M Q
第3位	J A 1 E Q I

固定部門

第1位	J A 1 B R M
-----	-------------

賞品は移動部門の第1位が持ち廻りの優勝カップとカーバッヂ。第2位、第3位はカーバッヂ。固定部門の第1位は持ち廻りのトリオ9R4受信機です。またログを提出した全参加局にFBな参加賞が贈られます。

アンテナ 2 題

1. A Homemade Bumper Mount

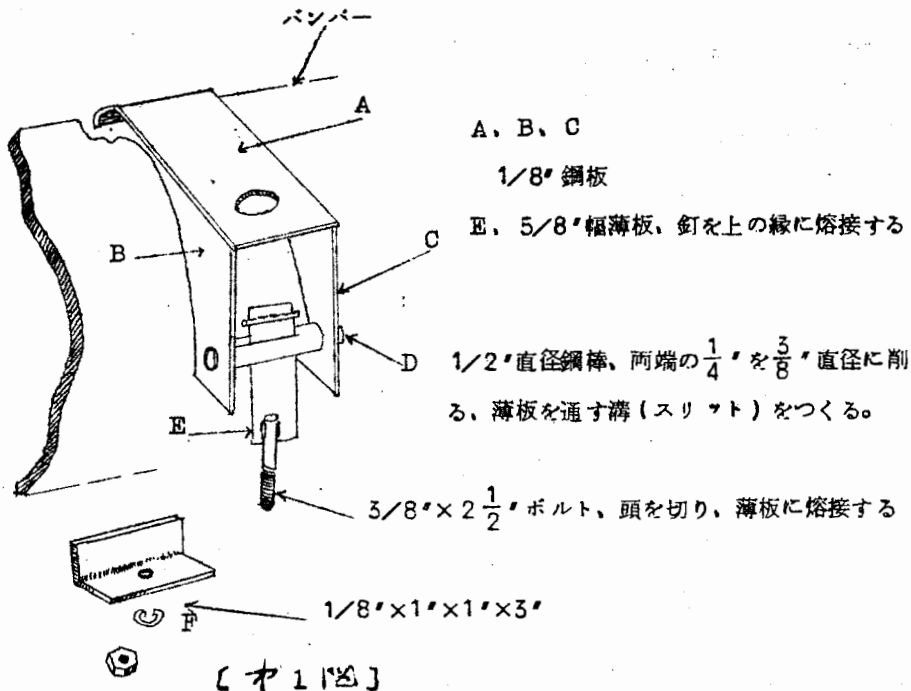
From 'The Mobile Manual

For Radio Amateurs'

ARRLのモバイルマニュアルに次の様なアンテナのバンパーマウントの製作記事が出て居りましたので御紹介します。

製作に当つては先ず自分がアンテナを取付けたいと思う点のバンパーの輪廓の型取りをボール紙で行います。この場合に上の線が地面と水平になる様に気をつけねばなりません。その型紙を用いて第1図を参照しながら各部分を作ります。一番上の部分(A)は一時程長くしておいてバンパーの上にひつかかるように万力とハンマーでおりまげます。二枚の側板(BとC)は一緒に締めつけ、細長い溝の入ったピン(D)の為の穴をドリルであけます。次に薄い板にボルトを熔接したもの(E)を少し長さに余裕をもたせて作りましょう。

ここまで出来ましたら全ての部分を車のところに持ち出して試験的に組み立ててみましょう。もし全てがうまくいきましたら、薄板(E)にストッパー用のピンをとりつける位置を定め、熔接します。次にこの薄板(E)を細長い溝の入ったピン(D)にはめこみ、そのピンを側板(BとC)に差し込み薄板によじれがないようにその溝を正しい方向に向けてピンと側板を熔接します。さてここまで出来上りましたら、今度は一番上の部分(A)を側板に熔接し、塗装を行います。このバンパーマウントはバンパーの既定の位置に腕金によつて固定します。腕金は第1図Fを参考にして製作して下さい。



2. 最も簡単なグラウンドプレーンアンテナの建て方

最近ではJ M H C 会員のアンテナは移動用がホイッブ、固定用がグラウンドプレーンと相場が決つた様ですが、まだグラウンドプレーンを建てていない方々の為に一昔し前のラジオ雑誌から最も簡単なグラウンドプレーンの建て方を御紹介します。

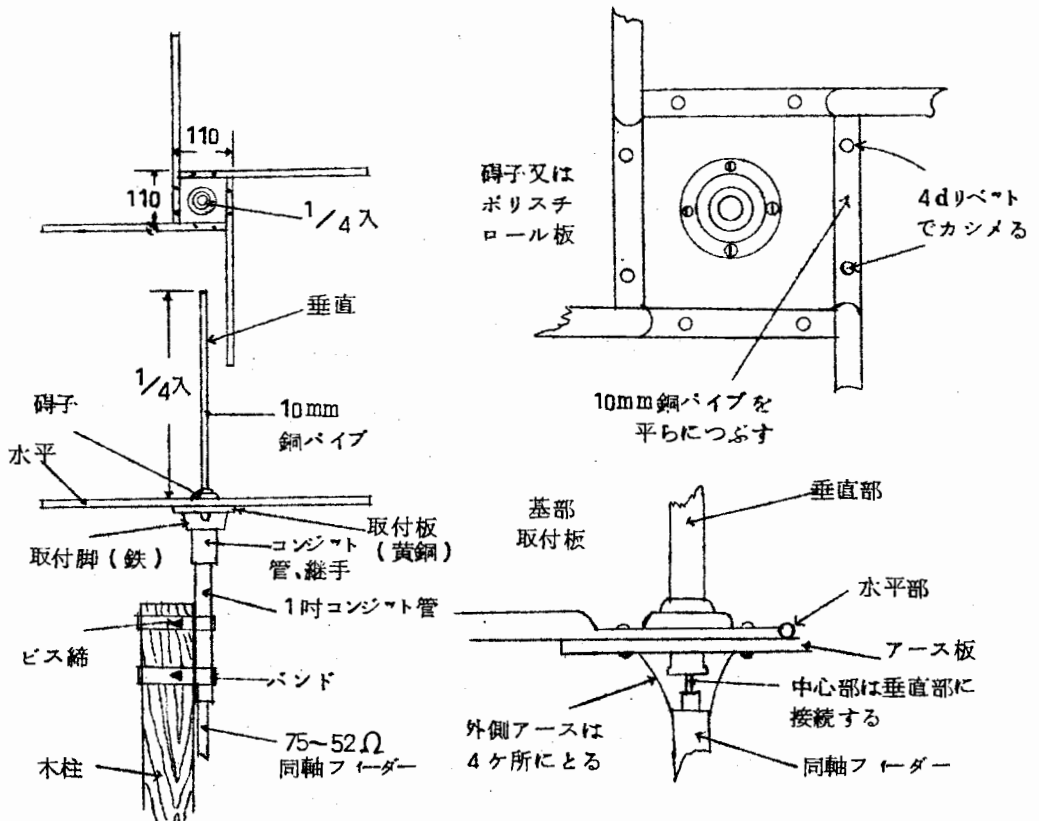
構造は 1/4 波長の水平素子 4 本と 1/4 波長の垂直素子 1 本からなり、水平部は饋電点で接地され垂直部は碍子で絶縁されます。饋電点のインピーダンスは 50Ω ですが 80Ω 位の同軸ケーブルまでよく整合し、簡単な割に能率も良好です。各素子の短縮率は第 1 表を用います。

饋電点の水平部取付板は黄銅又は銅板を用い、水平部素子が接触抵抗を持たないようにカシメ付後、ハンダづけします。同軸ケーブルの外被は 4 本に分けて

水平素子にハンダづけします。アンテナの支持はU型金物に1吋外径のコンジット管を取付け、できるだけ高くアンテナを上げます。

[第 1 表]

入：波長	d：導体の直径
入：d	短縮率
1000	0,97
200	0,965
100	0,962
50	0,945
20	0,942



雲 助 行 状 記

日本一周モビール旅行の内、神戸——→北海道の巻 (上)

J A 3 R F

昭和31年の春、ホロ車に7MCのトランシーバーを載せJA4、JA6と一巡しました。その時7MCはやはりダメ、50MCに上らねば、と云うわけでローカル局に50MCのトランシーバー製作を頼み、完成して電監の検査を受けたのが昭和32年7月20日、出発の10日前でした。

私のオンホロ車に寝具一式、テント、炊事道具、車の補助部品、虎の子のトランシーバー、とにかく個人装備、全体装備ともに重量制限して車は軽くしたいし、旅先のことを考えると出来るだけ荷物を持つていきたいし——やつと準備が出来たのは7月31日でした。

これからお話しするのは哀れな4人の雲助の物語です。その名はM。筆者とは長い間の腐れ縁、運ちゃんの前は大したもの、関西の学生界のこの道で彼の右に出るものは居ない。アルバイトで陸送をやっていた時、筆者と東京神戸間何度も何度も走りつづけ車のために生れたような男。怪しげな手品を得意とし旅先ではその演技でゼニをかせぎ、斗酒なお辞さずと云う酒豪。仲間の1人D、各種の車に通じ、その女遊びと同様車を乗りかえるのが趣味と云う金のかかる男。しかし修理百般何でも来い、別名を「男前の雄さん」と旅館の女中も幾度かホロりとさした好男子。それにもう一人N、嫌がる彼に今度の会計係を頼んだが、いざ金を預けると固い事この上なし牛のごとく実直な男、コップ一杯のビールで顔を赤くする可愛い男。運転経歴の浅いのが玉に疵、別名「李介芳」と称し、仲間では一寸名の売れた男。

彼等に加えて筆者と4人純情可憐な筆者に何故こんな飲助で変り者の親友が

(c)QTC-Japan.com & Tokyo OLD

集るのか不思議で致し方ない。

8月1日 いよいよ出発の朝、そろいのシャツ、ズボン、帽子、スリッパと威勢は良いが、やはり1ヶ月神戸と別れるとなると、どうも気が落ちつかない。

Mが都合により一緒に出発出来ず青森まで汽車で追っかけて来ることになる。

3人を乗せたホロ車はクラクションの音も景気よく神戸の町をスタートした。

3AAC, 3NW等沿道の各局は「生きて帰つて来いよ」「アイヌメノコを土産にたのむ」「葬式と彼女は引き受けるから安心するように」……等59で流れて来る50MCに車内爆笑が絶えない。

西国街道より国道1号線に入り京都市内では3JJ, 3QUからJA2の各局が沿道で待っているからとのQSPが入り、鈴鹿を越えて四日市、名古屋と走り馴れた道を進む。神戸から200哩走つて夕刻予定通り浜名湖に着きテントを張る。夜間も2JC, 2II, 2BDのQSOとビールで夜のふけるのも忘れる始末。テントへ蚊の来襲も初日の疲れで寝ている私たちには子守歌ぐらいにしか聞えない。

8月2日 神戸を出てしまうと気分的にも落ちついて楽になり、1日平均200哩を2人で運転することに定め残りの1人は運ちゃんの女房役で汗をふいてやつたり、水をのましたり、雑用多く、結構楽な仕事ではない。

静岡県盤田市を通過中2MKと59のFBなQSOを終り静岡に向つて飛ばしていると生れてはじめてEスポなるものに出会い、8AN, 8FY, 8CJ, とQSO, とにかく59オーバーでガンガン入感するので嬉しくなつてしまい走るのも忘れて道端に車をとめてQSOに夢中になつてしまう。JA8で再び会う約束をして通いなれた箱根を木の葉のようにヒラヒラ身をかかわして東京へとびこむ。その間2KB, 2BZ, 1RO, とQSO, トランシーバーの10Wとホイップアンテナも予想よりFBである。

出発前に神戸で整備した車は予定通り東京で最終整備を行い、その間東北方

(c)QTC-Japan.com & Tokyo OLD

面各局への連絡、試走と奥多摩へ足をのぼし、ウロウロ田舎者が都内を走っている間に親切に50MGで道案内をして下さった1ATF、1BDA、2G/1S、1AMK、1AUH、1BGR等がある。

8月5日 奥多摩へ試走したり、ウロウロのおかげで走行距離は早くも神戸から600哩を指している。東京を出て宇都宮に向う。途中道の程度は良いと東京で聞いて来たが、道路工事の連続で思うように走れない。実際こうして見てみると矛盾した工事が多い。都市計画とか何とかで牛歩の如く舗装工事が行われ、工事が完成すると今度は水道、ガス、電話工事のため出来上ったばかりの舗装をつぶしてしまう。ブツブツ文句を云いながら東京を出て30哩も走らなう内にエンジンの調子が怪しくなる。燃料がタンクから上つて来ないのだ。仕方なくポンプをとりはずして調べる。クリーナーのバックリングがやられている。そこから空気が入るため燃料が来ないのだ。取換えると云つても材料はなく、近くの農家で鉄を借りて来てホール紙でバックリングらしきものを作る。

そのあたりは巧みなもので三人居れば器用に作り上げる。虎の子のトランシーバーも故障しているのを発見、これは修理の方法がない。悪い時は故障がかさなるもので、今度は燃料ポンプが全然働かなくなる。三人ともガッカリして道に座りこむ。予定より四時間もおくれて日は西に沈みかけている。何とかしなくては——やつと考えついたのが、人工で燃料を圧送することだ。三人とも疲れきつて宇都宮には予定より六時間おくれて無事？ 到着する。

8月6日 宇都宮での修理をあきらめ日光街道の完全舗装路をブツとばす。時間を急ぐときはDにハンドルをまかせれば大丈夫、ブンブンとばしてくれる。日光も時間の都合で「お守り」を買っただけですぐ出発する。こうなると昼飯を食う時間もおいしい、非常用食のクラッカーをホリホリやりながら走る。

雨のため道がドロ沼に変じて居り、ついに車をめり込ましてしまう。ついに2時間程前交通安全のお守りを買ったばかりだのにと文句を云う。非常用のツ

(c)QTC-Japan.com & Tokyo OLD

ルハン、スコップを出して土方工事30分、ドロ沼からタイヤを掘り出し、3人ともドロだらけになつて車を引っぱり出す。近くの小川で顔や手を洗う。ふと川上を見るとNの野郎立小便の最中である。何となく水が臭かつた。

予定がおくれ急ぐときはこんな事故があり、気はあせるばかり。トランシーバーは故障でオシツンボ。雨は激しくなり道は増々悪くなつて来る。私の経験では栃木県は岡山鹿児島等より更に悪くて日本で一番悪い国道であつた。時速10哩も出せない。大きなドロ沼があれば1人が降りて車が通れるか調べに行く。何度も水の中に足を入れていた内に体中寒けが走る。夏というのに日がくると雨の東北は冷えて来る。3人が小便の連続、雨は更に激しく窓は一寸もあけられない。

燃料ポンプがダメなため室内に持ちこんでいる補助タンクからガソリンのガスが出て室内に充満し、タバコは勿論危険である。平常からガソリンに強い雲助もガソリンのガスが充満してはたまらない。段々皆顔色が悪くなる。

雨は雷をともない、又激しく、ついに洪水となり田畑と道の区別が判らなくなる。泣きたくなる。白河市までドロ沼を龜の如く走る。引火の危険からタバコが吸えないとなると、今度は睡魔がおそつて来る。これは何よりも危険だ。体に良くないとは知りながら覚醒剤を使用する。やはり命には換えられない。今日の予定地仙台には夜中の1時に到着、丁度七夕の夜である。御存知の方もある、大きなホンホリが3間以上もありそうな竹にぶらさがっている。関西で見るとはスケールがちがう。3人とも疲れを忘れ唯ホンヤリと——、駅前車をとめてその中でぐっすり寝る。市内電車の走り始める頃になると人々が車をのぞきに来る。御親切な人が、車の中で人が3人死んでいると交番へ知らせたとかで、東北弁丸出しの警官が我々をおこしてくれる。恥しいという気持は全くない。朝駅の便所で顔を洗い、駅弁で朝食をすませ、7IB、7BY、7BU、7HMの各氏に連絡がとれ、トランシーバーの修理を引きうけ

(c)QTC-Japan.com & Tokyo OLD

て下さる。私達は車の整備と神戸から駅止で送っておいたスプリング等の補助部品を必要なものだけ抜きとって又次の予定基地札幌へ鉄道便で送り出す。とにかくスペアのスプリングアッセンブリーなどは重くて車に積んだらたまつたものではない。

J A 7の人々が徹夜で修理して下さっている間、私達は徹夜でビールを飲んでいたと云うわけ、申訳ない。

8月8日 50MCがフェイドアウトするまで私はマイクをにぎりつづけた。森の都仙台を後にして松島に向う、雨でしつとりぬれた舗装路を快調に走る。

宮城岩手の県境をこえて目的地盛岡市に向う。雨つづきのために路傍は軟弱になり、途中トラックが転落していたり仲々面白い。平泉は昼頃到着、駐車場に車を捨てて急な坂道を歩きはじめる。3人とも疲れがたまっているのかすぐ息切れがする。そのくせ茶店に一寸FBな娘が居るともう目の色を変えている。見物を終り、巨木の天蓋を抜け出た時は又雨が降って来た。

盛岡市の手前で道路に大きくJ A 3 R F S T O Pと書いてある。急いで50MCに火を入れるとカーンとシグナルが入って来る。7CJ晴山0mである。Q.S.Oしながら向うの森近くに大きな農家があり2階から手をふっている。早速参上したが、大きなドンブリで出された地酒には恐る恐る手を出した。又7CJさんの連絡で盛岡市内の7AYが待っているとのこと。50MCで道案内してもらい宿につく。ところがその宿屋の主が7AY0mである。その夜は風呂で7D0、7DI、7CEと顔を合わせ、ハダカでホクロの数を見せ合つた。1ST Q.S.Oは前にも後にもこれがはじめてである。寄り集つた連中は田舎のバスがなくなり一緒にとまることになる。又その料金が無茶で、6人とまつて飲んだり食つたり、まとめて1200円安いことこの上なし。7AY大サービスでした。

とにかく旅館のクーポン券をもっているわけではなく、天気がよければ川原に

(c)QTC-Japan.com & Tokyo OLD

テントを張り疲れてしまえば旅館に泊り、日が西にかたむかないとその夜の宿のことは考えないと云う呑気さである。

しかしリーダーをやるかぎりには雑用も多く、車の調子、全員の健康も心配せねばならず、楽なものではありません。夜皆がねてしまつてから名前を呼んでやる。その時、グーグー寝ているやつは良いが、寝がえりをうつたり、一寸でも目をさました様子の奴は次の日の運転距離を短かくしてやる。

走行中でも運ちゃんの前で地図読みをしながら、男特有のY談をしてやると運ちゃんも元気の良い時は面白がつているが、疲れてくるとその返事がアイマイになり、その時はもう彼に運転を続けさせることは危険である。これが私達の疲労測定法である。又バックミラーを1つ余分に取りつけサイド役と運ちゃんがたえず顔を見合せるようにしていた。

8月9日 盛岡を出て更に北上をつづけ、青森県に入る。50M/CもEスポが出ないかと1時間おきに火を入れるが、ノイズばかりで面白くない。又ラジオもノイズばかりでうまく鳴らない。砂利道を40哩以上のスピードでとばして行く。このあたりに来ると1日中舗装路に会わない。音の静かなのは橋の上のコンクリートだけである。ドロ沼にそなえて後輪に使っているジープ用の荒いグリップのタイヤは小石を巻き込みフェンダーが小石にたたかれてニキビ面のようにブツブツが出来る。しかし割合路面は荒れていない。三本木で昼飯にするがすでに午後3時、腹がへりすぎて安物のラーメンが胃袋にとけこむ。焼山から奥入瀬を登り始めると樹木のトンネルを抜け岩をかんで流れる溪流に沿い登つて行く、時々おりて来るバスのクラクションが木々にひびく他は雨で水量を増した奥入瀬の音だけの世界である。

夕刻十和田湖に着く、テントを張りたいのだが空模様は怪しい、キャンプをあきらめ、今来た道を途中まで引き返し焼山より甲田山に向う。峠にかかるとトッブリと日は暮れ車にも人にも全く会わない。霧が激しくスピードも落ち誰

(c)QTC-Japan.com & Tokyo OLD

もだまりこんで前方の霧をにらんでいる。ヘッドライトの光も霧のため前方数メートルしたとどかない。無気味なほど静かで唯快調なエンジンの音だけが霧の中に吸いこまれて行く。

運ちゃんが急ブレーキをふむ、ガラガラと荷物がひつくりかえる。思わず頭をかかえこむ。恐る恐る頭をもちあげると霧の中から直ぐ車の前に牛の群が現われ道をふさいでいる。クラクションをならして追い散らそうとすると親玉格の筋骨リュウリュウとした牛がにらみつける。牛ににらみつけられたのは生れてはじめて、三人ともちぢみ上る。

酸ヶ湯国民温泉に着く。宿は満員で部屋は無いと云う。親父に会って事情を話すと気持良く受け入れて特別に部屋をあけてくれる。その夜は初めての男女混浴とあつてD、Nとも元気が良い。風呂へ入つたり出たり騒々しい事だ。

8月10日 酸ヶ湯温泉の美人女中に髪引かるる思いで八甲田山を青森へおりに行く。途中50MCで呼べども全く応答なし。気持の良い牧場を通るので運ちゃんのストライキ続出。手に手にカメラを持つてコンテスト並。

青森の日本通運へ行くと、神戸から連絡してあつたため親切に船の手配をしてくれる。青函連絡船も良いがこの場合は車を一度汽車に積み、これを船につむというやり方で事が面倒だ。又完全にシールドされてしまい、海上Q、S、O不可能になつてしまう。そこで機帆船に積んでもらうことになつていた。

万一船がブクブクとなつた時、人間は泳いで逃げるとしても、車は助からないので全損保険を含め渡し賃12000円を支払うことになつた。人間は車の附属物とみなし料金は不要、但し車の全重量+人間の重量についての運賃計算である。それにしても以前関門海峡をフェリホートで渡つた時の10倍である。会計係Nもしぶい顔をしてビールに換算して？本というわけで支払う段にはNの手で不器用に数えられる聖徳太子を横目でにらみ唾をゴクリとのみ込む。わずか807の船で突堤から板を2枚渡してソロソロ船に乗りうつる。波があり

(c)QTC-Japan.com & Tokyo OLD

船は揺れ、板はキシミ、乗せてしまうまでが大変である。何とか船にのせてしまおうと海に落ちないようにロープで車をしばりつける。これで万事OKと安心したのが大間違い。今夜の汽車でMが青森に追いついて来るのを忘れていた。車を積んだ道南海運の善勝丸は夜7時出帆の予定である。仕方なくNを一人青森に残して、Dと私は船に乗り込んだ。神戸を出てから走行距離計は1500哩を示している。何とかこれで待望の北海道に渡れると思うとどうも気が落ちつかない。寝るにも寝られずゴソゴソしていると、Dも同様にツメを切ったりラジオを鳴らしたり落ち着かない。

非常用のしめつたクラッカーとマホービンの湯で紅茶を作り夜食を始める。青森函館間60哩の海上を約8時間要するとのことで、国鉄連絡船の2倍の時間がかかる。船の上にチョコと車がのせてあり、車の窓から遠くなつて行く青森の灯が良く見える。ジャンパーを着込み外に出てみる。津軽海峡を吹く夜風は夏のものとはいえない。

(次号に続く)

J M H C 交 換 欄

〔売りたい〕

- RT66改造50MC JA1AEW
- ダットサン 年式58年 車検2年 38年10月 R・H付
JA1AOU
- RT68 12V電源付 スピーカー付 専用マウント付 インストラク
ションブック2冊付
- BC683 電源内蔵 チューブ付 JA1BZF
- RT70 JA1ENT
- RT66改造51MC JA1FFY
- P・T各種あります JA1GNQ
- 144MC用(車載用、取付台付)リモートコントロールBOX付、FM
送受信機、12VDC電源内蔵、5-10W
- MG、入力12V出力300V200mA、フィルター、リレーBOX付
(取付台付) JA3AVY
- RT70、電源、ハンドセット付、新品同様、超FB

台東区神吉町47 松井正男

- Q~~A~~Lカード、1枚11円

事務局

S

〔買いたい〕

- タクシー無線用機器(56-60MC及び150MC)の出物
- 固定用のFMのRX JA1AT
- CX局用の固定或は移動用になるもの一式 JA1HX
- アンテナ(車載用)
- 144MC用セット JA1JL

(c)QTC-Japan.com & Tokyo OLD

- 1万円以下で移動用12V入力のFM式50MCもしくは150MC送信機
又は受信機 JA1TC
- RT68, 1台安く求む JA1ACP
- 144MCタク上りセット JA1AEW
- 55年以後の小型(21以下)外車, 乞御一報 JA1AOR
- 144MC, 50MC用TRX。固定, 移動とも。電波型式FM, AMとも。
ご連絡下さい。 JA1AOU
- 6Vもしくは12V同軸リレー JA1EXN
- ステレオHiFiアンプ(メーカー不問) JA1FFY
- タクシー用リグー式(改造済もしくは改造可能なもの) JA1JLG
- RT70用入力12V(又は6V)のDC電源, 至急求む。
- モバイル用ホイップアンテナ, スプリング付50MC用, タクシー無線用の
アンテナでも可。
- タクシー無線機, 55, 36MC近く。アマバンド近くのセットが良い。
JA6IR
- RT68-70, PRC6その他の移動用TX, RX JA9CL

会 員 名 簿

コールサイン	氏 名	住 所	電話番号	車 種	車輛番号	車載 R X, T X
JA1AC	村井 洪	新宿区柏木4の888	(371)9024	ダットサン	5ㇵ2337	RT-70+2E24PP
JA1AT	横橋 薫	大田区池上本町216	(751)0917	プリンス	5ㇵ3888	RT-70+832A
JA1BB	土方 健	大田区北千束町465	(781)2588	オースチン	5ㇵ1460	
JA1CX	朝倉 昭	品川区大井康塚町4860	(772)3764	コフナ	5ㇵ1437	BC1000改造
JA1DV	水谷 敬	中野区本町通5-39	(381)4169	セドリック	5ㇵ2621	RT-70+2E24PP
JA1HM	林 秀夫	目黒区平町44松本方		ルノー	5ㇵ2613	RT-70.VRC-2, ARC-3
JA1HX	柴田 俊生	品川区大井立会町642	(491)2305	ルノー	5ㇵ1955	BC-1000+832
JA1ID	倉本 次彦	世田谷区上馬2-70-10 上馬マンション2D	(422)4110	ヒルマン	5ㇵ5950	RT-70+829B
JA1JL	長谷川 徹	台東区浅草橋1-4風間方	(851)3182	ルノー	5ㇵ8550	ナンヨナルタクシー無線改造
JA1TC	杉山 和男	千代田区平河町1の5		スバル360	栃と5560	自作 2E26
JA1YF	石川 源光	世田谷区代田2の870	(321)4614	グロリア	5ㇵ8873	RT-70+2E24
JA1ACP	谷崎 亘良	台東区浅草花川戸1の7	(841)6164	ダッチ	3ㇵ9845	RT-70+6146PP
JA1AEW	園田 直行	台東区浅草日本堤4の6	(873)3196			RT-66改造
JA1AOR	高野 茂	荒川区日暮里町5の772	(801)9824			タクシー上がり
JA1AOU	近藤 栄一	群馬県太田市5の170	(大田)2088	ヒルマン	5ㇵ6405	
JA1BKG	三谷 朱	立川市錦町4の47		プリンス	5ㇵ6248	FRC-20
JA1BLN	早川 勲	横浜市新奈川区三ツ沢中町 2の2	勤務先 (20)3166	ヒルマン	神5 8288	ナンヨナルFM-60C
JA1BRM	山下 裕二	大田区久ヶ原町813	(751)5668	マスター	5ㇵ0227	自作2E26PP

(c)QTC-Japan.com & Tokyo OLD

コールサイン	氏名	住所	電話番号	車種	車番	車載	RX, TX
JA1BWW	清水 幸雄	文京区浅草町5	(821)7706	プリンス	4れ5705	RT-68	
JA1BZF	来栖 修	立川市高松町2の84	0425-2-4714	コロナ	5さ7527	RT-68, タクシー無線改造	
JA1DWI	山田 豊雄	大田区桐里町137	(751)2613	クロリ7	品5す0889	RT-70+6146PP	
JA1ECL	長田 重昭	中野区鷺の宮1の116	(385)4251	プリンス	5れ4852	RT-68	
JA1ENT	関沼 重二	足立区上沼田1325				RT-70, PRC-6	
JA1EQI	藤田 進	都営上沼田7アパート4208		オペル	5そ8456	RT-68+829B	
JA1EXN	渡辺 昇輔	品川区大崎本町3の633	(491)2980	セトリマク		RT-70	
JA1FFY	渋谷 昇三	船橋市宮本町1の2594	(0474)3366	コロナ	5さ9567	RT-66改造	
JA1FMQ	石川 朝子	渋谷区代々木富ヶ谷1533	(321)4614	クロリ7	5み8873	RT-70+2E24	
JA1GNA	井上 研一	世田谷区代々木上原町1281		MG	5す2801	自作ALL TR	
JA1GNQ	市島 徳一	世田谷区三宿町91の7	(414)8384	ルノー	5さ8911	RT-70	
JA1JIG	小林 康輝	豊島区駒込4の15		三菱500SD	5は8619		
JA1JTB	小林 一雄	新三菱駒込7アパート101号	(982)8098	ヒルマン	5は3648	RT-66改造	
JA3RF	桑垣 敬介	府中市本宿5480		フォード		RT-70+2E26	
JA3AVY	西川 二郎	神戸市灘区篠原本町3の37	(0262)4728	マスターライン	大4の7820	636D	
JA3BBE	西本喜多郎	大阪市茨木市奈良493	高野島261	三菱シーブ	和1そ1201	60-10, 150-10, RT-68	
JA6IR	深草 守光	小倉市香春国7丁目	小倉(52)6867		福4せ3528	RT-70+2E24	
JA9CL	石塚 治和	吉原富家町内 富山県高岡市木津233		マツダクーペ	8富お0248	自作2E26, PRC-6	

日本モビールハムクラブ会報

第 三 号

昭和37年5月26日発行

編集人 山田豊雄 (JA1DWI)
発行人

発行所 日本モビールハムクラブ (JMHC)

東京都大田区馬込東4-12

山田油機馬込ビル内

◎ 本誌よりの無断転載を禁ず